

国内クレジット認証委員会御中

審査結果概要書

平成 22 年 11 月 17 日

審査機関名 ペリージョンソンレジストラ
クリーンディベロップメントメカニズム株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	公衆浴場におけるボイラ高効率化による排出削減事業
排出削減事業者名	有限会社 恒心
排出削減共同実施事業者名	テス・エンジニアリング 株式会社
事業実施場所	有限会社 恒心 (こうしんの湯) / 北海道札幌市東区北 30 条東 19 丁目 1-1
事業の概要	公衆浴場「こうしんの湯」において、給湯用に使用している A 重油 焚温水ボイラを高効率の都市ガス焚温水ボイラへ更新することにより、 二酸化炭素排出量の削減を図る。
排出削減量の計画	2008 年度：125 tCO ₂ /年 2009-2012 年度：250 tCO ₂ /年 (事業実施期間合計 1,125 t-CO ₂)
国内クレジット 認証期間	開始日 2008 年 10 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	■方法論 001 ボイラーの更新

2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に 適合 している。

3. 実施した審査手続きの概要

審査手続きにより、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続き
日本国内で実施されること	事業計画が日本国内で実施されていることを、2010年11月2日に事業サイトを訪問して確認した。 排出削減事業実施場所： 有限会社恒心（こうしんの湯） 北海道札幌市東区北30条東19丁目1-1
追加性を有すること	<ol style="list-style-type: none">1) 本排出削減事業は法的義務等の遵守のために計画されたものではなく、省エネルギーおよびCO2排出量の削減を目的として実施されたことを本排出削減事業者、その他関連事業者への質問等により確認した。2) 本事業を実施せず、設備更新を行わない場合、既存設備を継続して利用できる状態であったことを機器の定期点検・運転日誌などの記録で確認した。3) 本事業の投資回収年数については、本排出削減事業者、その他関連事業者への質問、入手した根拠資料を基に計算した結果、本事業計画書に記載された5.1年であることを確認した。4) 既存設備は継続して使用可能であり、経済的見地から判断して本事業が魅力的な案件とはなり得ないが、国内クレジット制度の活用によりCO2削減活動のCSR効果が期待できることが、本事業への投資決定の重要な要因となったことを確認した。
自主行動計画に参加していない者により行われること	事業者の事業に係わる業界団体のウェブサイトでの確認及び排出削減事業者への質問、関係者への質問により、自主行動計画に参加していない事業者であることを確認した。

<p>排出削減方法論に基づいて実施されること</p>	<p>本事業では、承認排出削減方法論 001「ボイラーの更新」に基づき排出削減量を計算しており、また方法論の適用条件を満たしていることを確認した。</p> <p>適用条件 1：更新前熱源設備の仕様書及び熱精算書の確認、新設ボイラーの設備及び仕様書の確認等によって、高効率ボイラーを導入していることを確認した。</p> <p>適用条件 2：既存の設備が、定期点検、運転日誌などの記録、質問への回答から判断して、問題なく継続して使用可能であったことが確認できた。</p> <p>適用条件 3：事業サイトの訪問、全体レイアウト図・温水配管系統図の確認、及び関係者への質問等により、ボイラーを施設内の熱利用のために用いることを確認した。</p> <p>その他、バウンダリーの設定、ベースラインの設定、リーケージの特定、排出削減量、モニタリング方法、モニタリング対象のQA/QCが適切であることについて、排出削減事業者および関係者への質問、関連書類の閲覧により確認した。</p>
----------------------------	--

上記の詳細については、別紙「排出削減事業の要件についての確認事項一覧」を参照すること。

4. 特記事項

投資回収年数については、補助金を除いた純投資額をもとに算出している。

以上